

酒について調べる

「酒」と聞いて、みなさんは何を思い浮かべますか？ビール、日本酒、ウイスキー、ワイン、カクテル…。酒は様々な製造方法で作られ、種類も豊富です。酒を飲む人も飲まない人も、楽しく詳しくおもしろく酒について調べてみましょう。

目次

自分で調べるときのポイント① シソーラスマップで調べたい語の全体像を知る ……………	p2
自分で調べるときのポイント② 分類記号と件名……………	p2
1 酒とは何か ……………	p3
2 酒の歴史 ……………	p3
3 酒の種類 ……………	p4
4 埼玉の酒 ……………	p5
5 酒の楽しみ方と文化 ……………	p6
自分で調べるときのポイント③ 業界団体のウェブサイト調べる……………	p7
自分で調べるときのポイント④ オンラインデータベースで科学技術文献を探す……………	p8

資料リスト「知る・味わう・酔いしれる—知識が彩る酒の世界」（2025 年 7 月作成）も併せて御活用ください。

アイコンの説明



図書



雑誌



インターネット情報



オンラインデータベース

- ・書名の前に書いてある数字やカナは請求記号です。本の背ラベルにも同じ数字やカナが書いてあるので、請求記号を見て探すとき探している本をスムーズに見つけることができます。
- ・この調べ案内に掲載している図書や雑誌は全て久喜図書館で所蔵しています。
- ・請求記号に「R」がついているものは貸出ができません。館内で御覧ください。
- ・請求記号に「S」がついているものは埼玉資料です。久喜図書館所蔵の埼玉資料は貸出ができます。
- ・請求記号に「D」がついているものは大型本です。貸出ができます。
- ・発行から 2 年を経過した雑誌は保存のため貸出ができません。館内で御覧ください。

【自分で調べるときのポイント① シソーラスマップで調べたい語の全体像を知る】

酒について調べようと思ったとき、何から調べたらよいのか分からないという方も多いのではないのでしょうか。そんなときは、調べたい語（キーワード）の上位語や下位語、関連語を調べることができるシソーラスマップを活用すると便利です。



国立国会図書館が提供している《Web NDL Authorities 国立国会図書館典拠データ検索・提供サービス》（<https://id.ndl.go.jp/auth/ndla/>）でキーワードを入力して検索すると、そのキーワードを含む個人名や団体名、普通件名がヒットします。そのうちの「普通件名」で絞り込んで結果を見ると、入力したキーワードに関連する語を知ることができます。



例えば検索窓にキーワード〈酒〉と入力して検索すると、以下のページがヒットします。



《酒》（<https://id.ndl.go.jp/auth/ndlsh/00570044> 国立国会図書館）

「酒」の同義語のほかに上位語や下位語、関連語が掲載されています。



上位語	発酵食品；嗜好品；飲料
下位語	洋酒；味醂；清酒；果実酒；蒸留酒；薬酒；乳酒；どぶろく
関連語	飲酒；禁酒；酒器；酒商；アルコール専売；酒税

これらの語をヒントに資料を探すと、調査の幅が広がります。また検索したキーワードの上位語・下位語・関連語を視覚的に表したシソーラスマップを見ると、語と語の関係が分かります。

【自分で調べるときのポイント② 分類記号と件名】

図書館にある本のデータ（書誌情報）には、本の主題を数字で表す分類記号と、簡潔な言葉で表す件名が付与されています。この分類記号と件名をヒントに本を探すと、「〇〇について書かれた本」を効率よく探すことができます。分類記号については、《図書館資料分類表》のページを御覧ください。



《図書館資料分類表》（<https://www.lib.pref.saitama.jp/collection/bunrui/index.html> 埼玉県立図書館）



分類記号や件名を活用した本の探し方は、《資料を検索したい》を御覧ください。

《資料を検索したい》（<https://www.lib.pref.saitama.jp/guidance/netservice/sou/sa/kensaku.html> 埼玉県立図書館）



この調べ方案内は、以下の分類記号と件名で本を検索して作成しています。

分類記号

〈383（衣食住の習俗）〉 〈588（食品工業）〉 〈588.4（清涼飲料：炭酸飲料，サイダー，ラムネ，果汁，酸性飲料）〉 〈588.5（醗酵工業．酒類）〉 〈596.7（飲料：酒，コーヒー，茶，カクテル）〉

件名

〈酒〉 〈酒 カタログ〉 〈酒 日本 辞典〉 〈蒸留酒〉 〈清酒〉 〈飲み物 歴史〉
〈ビール〉 〈ビール類製造業－日本〉 〈ワイン〉

1 酒とは何か

酒とはどういうものなのでしょうか。辞（事）典や入門書で確認してみましょう。



R/588.5/セ『世界の酒事典 第6版』（稲保幸著 柴田書店 1971）

「酒」の項

「エチル・アルコール分を含有する飲料の総称。一般には日本酒を、なかでも清酒をさす場合が多い。外国でも、Sake または Saki として清酒が説明されている。ただし、アルコール分1度以下のものとか、またそれが固形などである場合は酒とはいわない。わが国の酒税法では、第2条に「酒類とはアルコール分一度以上の飲料をいう」と規定している。」



588.5/サ『酒学入門』（小泉武夫〔ほか〕編著 講談社 1998）

酒の始まりから世界の蒸留酒、それぞれの酒の歴史、酒にまつわるとっておきの話まで、酒に関することが網羅されています。

2 酒の歴史

酒の数だけ歴史あり。奥深い酒の歴史を知ることができる資料を紹介します。



588.4/セカ『世界を変えた6つの飲み物』

（トム・スタンダーズ著 新井崇嗣訳 インターシフト 2007）

ビール、ワイン、蒸留酒、コーヒー、紅茶、コーラの歴史がまとめられた1冊。これらの飲み物の歴史やこれらの飲み物が歴史に与えた影響を知ることができます。

「食」の図書館シリーズ

身近な食材の知られざる歴史を紹介する「食」の図書館シリーズでは、様々な酒の歴史を紹介しています。豊富な図版や写真があり読みやすいだけでなく、レシピ集もついているので食べて楽しむこともできます。



588.55/ｼﾔ『シャンパンの歴史』（ベッキー・スー・エプスタイン著 芝瑞紀訳 原書房 2019）



588.57/ｳｵ『ウオッカの歴史』（パトリシア・ハーリヒー著 大山晶訳 原書房 2019）



588.57/ｼﾝ『ジンの歴史』

（レスリー・ジェイコブズ・ソルモンソン著 井上廣美訳 原書房 2018）



588.57/ﾃｷ『テキーラの歴史』（イアン・ウィリアムズ著 伊藤はるみ訳 原書房 2019）



588.57/ﾌﾗ『ブランデーの歴史』

（ベッキー・スー・エプスタイン著 大間知知子訳 原書房 2017）



588.57/ﾗﾑ『ラム酒の歴史』（リチャード・フォス著 内田智穂子訳 原書房 2018）



588.58/ﾘｷ『リキュールの歴史』

（レスリー・ジェイコブズ・ソルモンソン著 伊藤はるみ訳 原書房 2024）



596.7/ｶｸ『カクテルの歴史』（ジョセフ・M・カーリン著 甲斐理恵子訳 原書房 2017）



《お酒と文化》

<https://arukenkyo.or.jp/culture/index.html> アルコール健康医学協会）

ワインとビールの誕生の歴史や日本の酒の歴史、日本の酒の風習についてまとめられています。



3 酒の種類

一口に酒といっても、その種類は様々です。酒は主に醸造酒・蒸留酒・混成酒の 3 種類に分けられ、そこからさらに細かく分類されます。ここでは、どのような酒があるのかが分かる資料を紹介します。



588.5/ｼﾝ『新・酒の商品知識 第4版』（酒類総合研究所編 法令出版 2023）

様々な酒の歴史、原料、製造工程がまとめられています。酒の上手な飲み方や管理、きき酒についての章もあります。



R/588.5/ｾｶ『世界の名酒事典 2013 年版』（講談社編 2012）

ウイスキーからワイン、ビール、中国酒まで網羅し 10300 点を掲載しています。全てにカラー写真がついており、ラベルも見ることができます。



588.52/ニホ『日本酒 15,706 種 日本全国の日本酒を網羅するデータブック』

(稲保幸著 誠文堂新光社 2007)

都道府県ごとに五十音順で銘柄が掲載されています。商品名が類似の銘柄や姉妹銘柄も掲載されているのが特徴です。



D/588.55/セカ『世界のワイン図鑑 第8版』

(ヒュー・ジョンソン [ほか] [著] 山本博監修 村松静枝訳 ガイアブックス 2021)

「高精度の地形図を盛り込んだワイン産地の地図帳」を意図して作られた本の第8版です。この版では 230 葉の地図が掲載されています。産地に着目して世界中のワインを知ることができます。



588.57/シ『ジン大全』(日本ジン協会 [監修] G.B. 2019)

ジンの基礎知識や歴史、定番銘柄、世界中のジンがオールカラーでまとめられています。巻末にはジンを使ったカクテルの作り方も紹介されています。



588.54/クラ『クラフトビール事始め』(山田隆司著 朝倉書店 2022)

クラフトビール(地ビール)事業を始めようとする人向けに書かれた本です。読み進めるうちにビールについての知識を深められます。



《酒類の分類及び品目と酒類の定義》

(https://www.kanzei.or.jp/refer/in_t/internal_tax1.htm 日本関税協会)

酒類の分類ごとに品目が列挙され定義も書かれているので、どういう酒があるのかを体系的に知ることができます。



4 埼玉の酒

日本酒の都道府県別出荷量が全国 4 位となるなど、埼玉県は全国有数の酒どころです。そんな埼玉県にはどのような酒があるのかを調べてみましょう。



S/588/サイ『埼玉県酒造組合史』

(埼玉県酒造組合史編纂委員会編 埼玉県酒造組合 2016)

江戸から平成までの県内の酒造業の歴史が書かれた1冊です。また「蔵元紹介」として見開き1ページ・カラー刷りで県内35か所の蔵元が紹介されています。



《埼玉県酒造組合》 (<https://saisake.com/> 埼玉県酒造組合)

1890年12月に設立された埼玉県酒造組合のウェブサイトです。《埼玉の地酒 銘柄・商品検索》や《蔵元紹介》、《埼玉の酒造りについて》、《日本酒を知る・楽しむ》のページがあります。



《埼玉の地酒 銘柄・商品検索》 (https://saisake.com/search_products/)

埼玉の地酒の銘柄を検索できるサイトです。フリーワードで検索できるほか、「お好みセレクト」で分類・度数・飲み口・味わい・おいしい飲み方の項目を選び、絞り込んで検索することもできます。



《蔵元紹介》 (<https://saisake.com/kuramoto/>)

埼玉県内の蔵元が中部・西部・北部の地域ごとに掲載されています。また「ふるさと埼玉名勝さけめぐりマップ」 (https://saisake.com/wp-content/uploads/2023/05/guide_map2023.png) もあり、県内の酒蔵の位置がマップ上に示されています。



《埼玉の酒造りについて》 (<https://saisake.com/sakezukuri/>)

「埼玉の水」、「埼玉の米」、「埼玉の技」の3つのポイントを挙げて埼玉の酒造りを紹介しています。また埼玉県酒造好適米「さけ武蔵」についても紹介されています。



《日本酒を知る・楽しむ》 (<https://saisake.com/knowledge/>)

日本酒の楽しみ方が分かるページです。「日本酒の楽しみ方～温度編～」や「日本酒の甘辛度」、「日本酒の賞味期限と活用法」などが掲載されています。



5 酒の楽しみ方と文化

ここでは、酒の楽しみ方や酒文化について書かれている資料を紹介します。

(1) 酒の楽しみ方



『Dancyu 32-8 2022年8月』（プレジデント社 2022.8）

特集：「夏のつまみと酒」

「酒場の夏つまみレシピ 28 皿」や全品レシピ付きで色々な人の晩酌を紹介する「マネしてみたい！あの人の晩酌」など、酒をおいしく飲むためのつまみがたくさん紹介されています。





『オレンジページ 37-19 2021年5月17日』（オレンジページ 2021.5）

特集：「おうち居酒屋でカンパイ！」

飲みたいときに簡単に作れる絶品つまみや自分で作るノンアルコールドリンク、クラフトビールに合うつまみがレシピ付きで紹介されています。



《お酒のはなし（情報誌）》（<https://www.nrib.go.jp/sake/story/> 酒類総合研究所）

日本で唯一の酒に関する国の研究機関である酒類総合研究所が清酒、焼酎、ワイン、ビール、ウイスキー・ブランデー、リキュール、みりん・合成清酒・雑酒、スピリッツ類の特徴や製造法、歴史などを分かりやすくまとめています。楽しみ方が掲載されているものもあります。



（2）酒文化



S/588/サ『酒とくらす』（行田市郷土博物館編 行田市郷土博物館 2018）

暮らしの中で酒がいかに利用されてきたのかを年中行事の記録や生活用品などの民俗資料から読み解いています。酒を飲むだけでなく酒器の収集も行っていた行田市ゆかりの文豪・田山花袋についての記述もあります。



R/588.5/ニホ『日本の酒文化総合辞典』（荻生待也編著 柏書房 2005）

「酒用語を見出しに掲げ、その語の用例を通して酒文化・酒学に迫」った「わが国初の個性派辞典」です。「日本の酒総合年表」や「全国主要蔵元一覧」もついています。



S/383/サ『酒と宴』（川越市立博物館編 川越市立博物館 2023）

川越やその周辺地域を中心として、豊富な資料や写真を使い酒宴の歴史を紐解いています。「コラム ちよっと箸休め」では、縄文時代から現代までの人々の酒との関わりを知ることができます。

【自分で調べるときのポイント③ 業界団体のウェブサイト調べる】

「ある特定の産業にかかわる企業や、ある特定の業務にかかわる個人を会員として構成される非営利団体」（「デジタル大辞泉」より）のことを業界団体といいます。業界団体のウェブサイトを見ると、産業に関する基礎知識や統計情報などを調べることができます。

酒に関する業界団体も存在し、国税庁が《リンク 酒類業関係団体》としてリンクをまとめています。



《リンク 酒類業関係団体》

(<https://www.nta.go.jp/taxes/sake/link/mokuji.htm> 国税庁)

国税庁がまとめている酒類業関係団体のリンク集です。日本酒、ビール、ワイン、酒販組合などの団体のウェブサイトが掲載されています。

ここでは、日本酒造組合中央会のウェブサイトを紹介します。



《日本酒造組合中央会》 (<https://www.japansake.or.jp/> 日本酒造組合中央会)

《日本酒》 (<https://japansake.or.jp/sake/>) や《本格焼酎と泡盛》 (<https://www.honkakushochu-awamori.jp/>) のページには、基礎知識やおいしい飲み方、酒器、酒蔵検索などが掲載されています。



【自分で調べるときのポイント④ オンラインデータベースで科学技術文献を探す】

埼玉県立図書館には、無料で利用できるオンラインデータベースが 19 種類あります。利用できるデータベースの種類や利用可能館については《データベース紹介》のページを御覧ください。



《データベース紹介》 (<https://www.lib.pref.saitama.jp/guide/business/databases.html> 埼玉県立図書館)



今回は、日本最大級の科学技術文献データベースである《JDreamIII》（提供元：ジー・サーチ）を紹介します。



《JDreamIII》（提供元：ジー・サーチ）

科学技術や医学・薬学関係の国内外の文献情報を検索できる日本最大級の科学技術文献データベースです。記事本文をデータベースから見ことはできませんが、一部全文リンクがあるものがあります。海外文献は日本語による抄録を掲載しています。アドバンスドサーチではシソーラス用語で検索できるので、検索漏れを防ぎ関連語を含め網羅的に文献情報を探ることが可能です。



埼玉県マスコット「コバトン」



発行：埼玉県立久喜図書館 自然科学・技術資料担当
埼玉県久喜市下早見 85-5 Tel：0480-21-2659